

② 未だに新型コロナウイルスは収束しておらず、今後も生活の中に新型コロナウイルスは居座り続けると思われる社会において、皆が健康に過ごすための支援、対策、目標や今後の取り組みを伺つ。ウイズコロナ社会実現のため、まずは感染防止に取り組むことが重要



おまえあきよ
大前昭代 議員
(民主クラブ)

ウイズコロナ社会での支援

であることから、国や北海道が示した「新しい生活様式」「新北海道スタイル」の実践を周知するほか、市が策定する第2次健康ふかがわ21において、日常生活で今よりも10分多く体を動かすことを探求しており、それ自分の生活スタイルの中で、自分に合った運動の実践

について周知し、健康状態の維持につながるよう支援する考えです。

インターネット上での危険性を学ぶ場

インターネットの使用について子供も学校も保護者も学べる場が必要だと思うが、市の考え方を伺う。

インターネット上の危険性を学ぶ場

観として保護者にも参加していただきなど、各学校において取り組んでいます。今後も情報モラルの意識をより一層高められるよう、教職員や保護者を対象とした研修会を開催します。今後も情報モラルの研修会開催や、授業の一環である生徒向けの情報モラル教室に、授業参



新型コロナウイルス感染症関連情報：市HP
PTA連合会主催の研修会

② 2年前に新築した深川中学校のパソコン教室、保健室、会議室にエアコンが設置されたが、肝心の普通教室に設置されていない。市内すべての小中学校普通教室にエアコンを設置する考えを伺う。

A 現在は、市内小中学校全ての教室に扇風機を設置することに加え、日

差しを遮るカーテンの使用や窓を開けることで、暑さを緩和しています。エアコンの設置による、より良い教育環境の整備については、気温や湿度などの状況や社会情勢の変化に伴い検討が必要と考えますので、学校現場の声などを捉えながら、環境整備の手法の一つと

して今後研究していくと考えています。

② 今年4月に新築開園した公私連携型保育所新中央保育園は、2～5歳児の保育室4室にエアコンが設置されていない。

A 新中央保育園ではエアコンがない2歳児以上の保育室は、夏場の日差しを遮るために南面の窓の上部にひさしを整備し、24時間稼働の換気設備を備えています。また、エアコンを設置している施設中央にある遊戯室と

は、仕切りの壁やドアが大きく開口できることが、必要に応じて冷気を取り込めるなど、適切な室温になるよう工夫された構造としていますが、将来、保育室にもエアコンを必要とする意見が多くなった場合には、対応について検討していく考えです。



きたなてるみ
北名照美 議員
(日本共産党)

学校普通教室にエアコンを



新中央保育園

質問した事項

10人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかつたほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表でご覧いただけます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問通告表
(質問項目が確認可能)



■北名 照美 議員…08

- ・学校普通教室にエアコンを
- ・新中央保育園にエアコンの設置を

■大前 昭代 議員…09

- ・ウィズコロナ社会での支援
- ・インターネット上の危険性を学ぶ場

■松本 雅祐 議員…10

- ・児童バス通学助成の拡充を
- ・おくやみ手続の負担軽減について

■田畠 陽美 議員…10

- ・コロナの地域活動への影響
- ・スポーツ合宿招致の今後の取り組み

■田中 昌幸 議員…11

- ・ごみ出し困難世帯へ支援を
- ・道内ワーストの最高路線価に対策を

■太田 幸一 議員…12

- ・駅北本通線沿いの公園新設
- ・洪水に対する防災の考え方について

■山本 時雄 議員…12

- ・河川の大幅な改修の考えは
- ・市街地のカラス被害と環境衛生は

■近沢 弘幸 議員…13

- ・非農用地利活用の考えは
- ・マイナンバーカードの活用方法は

■辻本 智 議員…14

- ・老朽空き家問題早期解決を
- ・地元農産物の利活用に行政支援を！

■佐々木一夫 議員…14

- ・道の駅の虚偽答弁について
- ・道の駅カフェコーナー開設決裁書

Q 高齢、身体もしくは精神の障がい、病気または怪我等により、ごみステーションに家庭ごみを排出することが困難な世帯の市内の現状と、「ごみ出し支援」の市の早急な取り組みについて伺つ。

A 本市では高齢化率が41%を超えており、独居世帯も増えていることか

Q 高齢、身体もしくは精神の障がい、病気または怪我等により、ごみステーションに家庭ごみを排出することが困難な世帯の市内の現状と、「ごみ出し支援」の市の早急な取り組みについて伺つ。

A 本市では高齢化率が41%を超えており、独居世帯も増えていることか

田中昌幸 議員
(民主クラブ)

ごみ出し困難世帯へ支援を

路線価の公開： ごみステーション

Q 高齢、身体もしくは精神の障がい、病気または怪我等により、ごみステーションに家庭ごみを排出することが困難な世帯の市内の現状と、「ごみ出し支援」の市の早急な取り組みについて伺つ。

A 本市では高齢化率が41%を超えており、独居世帯も増えていることか

田中昌幸 議員
(民主クラブ)



Q コロナ禍の中、イベントやさまざまな活動が中止を余儀なくされた。行政や地域住民と向き合い、深いかかりを持つ町内会やNPO法人等の地域貢献団体が行う活動への影響と、今後の取り組みについて伺う。

A 町内会では、感染拡大防止のため、高齢者の

Q サロン活動の中止や、研修事業の中止などが生じています。今後は、地区別町内会長会議において、今後の活動や対応等を伺い、適時、情報提供を行っていく考えです。NPO法人では、現在、活動に困っているといった相談はありませんが、事業の中止や活動の減少、感染

Q 新型コロナウイルスの影響により、本市への実業団や大学などのスポーツ合宿もキャンセルが相

Q スポーツ合宿招致の今後の取り組み

A 本市で合宿を行っていた団体においても、今年の状況を機に合宿地などを大きく見直す可能性もある中、最も重要な直接面談での招致活動が困難な状況にあります。

たばた はるみ
田畠陽美 議員
(民主クラブ)

サロン活動や研修が中止に

深川市スポーツ合宿のご案内： 市HP

深川市の良好な合宿環境

Q 高齢、身体もしくは精神の障がい、病気または怪我等により、ごみステーションに家庭ごみを排出することが困難な世帯の市内の現状と、「ごみ出し支援」の市の早急な取り組みについて伺つ。

A 本市では高齢化率が41%を超えており、独居世帯も増えていることか

田畠陽美 議員
(民主クラブ)



Q 市内の児童は原則として居住する通学区域内の小学校に通う。遠距離通学をする児童に対して、安心安全に通えるよう児童バス通学助成制度を支援しているが、助成率を全額に拡充してはどうか。

A これまで本制度の申請は、音江小学校と北新小学校に通う児童の保護者からであり、路線バスが利用可能な地域の児童に限定されている中で、対象地域の児童全員が助成を受けているのか確認ができていないことから、事業内容の検証が必要と考えています。今後、事業の検証を進める中で、他の地域との公平性なども考慮しなければなりません。

Q 親族が亡くなつた後の手続が複雑かつ多岐にわたるため、遺族の負担となつていています。手続をスマート化するよう、市

せんが、助成率の見直しも含め、助成内容について検討したいと考えます。

Q おくやみ手続の負担軽減について

A 現在のところ、おくやみに関する手続のうち、他課の事務に関して調整が必要であることや、市民課窓口のスペースや配置人員などの関係

まつもと まさひろ
松本雅祐 議員
(令和公明クラブ)

児童バス通学助成の拡充を

おくやみに際する手続き： 市HP

総合案内

市民課の案内看板

Q 市内の児童は原則として居住する通学区域内の小学校に通う。遠距離通学をする児童に対して、安心安全に通えるよう児童バス通学助成制度を支援しているが、助成率を全額に拡充してはどうか。

A これまで本制度の申請は、音江小学校と北新小学校に通う児童の保護者からであり、路線バスが利用可能な地域の児童に限定されている中で、対象地域の児童全員が助成を受けているのか確認ができていないことから、事業内容の検証が必要と考えています。今後、事業の検証を進める中で、他の地域との公平性なども考慮しなければなりません。

Q 親族が亡くなつた後の手続が複雑かつ多岐にわたるため、遺族の負担となつていています。手続をスマート化するよう、市

せんが、助成率の見直しも含め、助成内容について検討したいと考えます。

Q おくやみ手続の負担軽減について

A 現在のところ、おくやみに関する手続のうち、他課の事務に関して調整が必要であることや、市民課窓口のスペースや配置人員などの関係

まつもと まさひろ
松本雅祐 議員
(令和公明クラブ)



Q 現在、国営及び道営により基盤整備事業が行われているが、非農用地利活用促進事業を活用しての廃屋の解体要望件数が多數あることを踏まえ、市の本事業への今後の考え方について伺う。

A 本事業は、現在、一般財源による本市独自の事業であり、第5次総合



ちかさわひろゆき
近沢弘幸 議員
(公政クラブ)

次年度に向け要望内容精査



マイナンバーカード総合サイト：国HP
マイナンバーカードのイメージ

計画に記載されているほか、深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象事業であり、外部識者である推進協議会委員からも、地方創生に有効との評価をいただいています。現在の要望がある17件を含め、農業委員を通じて次年度以降の事業要望の内容を確認・精査し、

Q コロナ禍において、今後、人との接触を極力減らす手段として効果的なデジタル化の普及が急がれると思うが、マイナ

ドの活用方法は

A 新たなサービスとしては、来年3月から、健康保険証としてオンラインで資格確認が行える予定であり、既に利用申込受付が始まっているほか、特定健診や処方された薬剤

Q 近年、多発する大雨災害により、幾たびとなく地域を流れる普通河川が氾濫を繰り返し、そのため被災箇所の復旧工事を実施しているが、これらの大河川の大幅な改修事業を行なう考えについて伺う。

A 河川の大河川の大幅な改修事業は、予防保全上、大変

有効であり、普通河川においても改修事業が行なわれる新たな対策の制度が求められるものです。河川改修・治水事業は、市民の安全と農地・農業用施設などの財産を守る重要な事業ですので、現在、北海道が整備を進める砂防事業などに取り組んでもらえるよう要望す

Q 数年間にわたり市街地の住民がカラスの被害を受けている。騒音や糞

A 建物や樹木に巣をつくるよう、市から施設管理者に要請しているほか、カラスを寄せつけない忌避材を町内会に試して伺う。

尿に悩まされ衛生面に気遣い暮らしているが、市として今日までどのような対策を行ってきたか。また、今後の対応について伺う。

Q 関係機関とともに、連携を図りながら、河川整備の強化、予防保全の対策を協議していく考えです。

尿に悩まされ衛生面に気遣い暮らしているが、市として今日までどのような対策を行ってきたか。また、今後の対応について伺う。

Q 関係機関とともに、連携を図りながら、河川整備の強化、予防保全の対策を協議していく考えです。

尿に悩まされ衛生面に気遣い暮らしているが、市として今日までどのような対策を行ってきたか。また、今後の対応について伺う。

Q 関係機関とともに、連携を図りながら、河川整備の強化、予防保全の対策を協議していく考えです。



やまもとときあ
山本時雄 議員
(令和公明クラブ)

河川の大河川の大幅な改修の考え方



河川整備基本方針計画：北海道開発局HP
被災した河川

Q かねてから地域住民が要望していた、駅北地区への公園新設が大きく前進していると聞く。駅北本通線に隣接する児童公園の整備について、深川土地改良区との協議を含めて、これまでの経過を伺う。

A 公園整備にあたり、本年度、町内会と地域に

設置施設の要望を伺ったところ、ボーリング遊び用の防球フェンスと休憩施設のベンチと回答があり、深川土地改良区と協議を行なった結果、大正用水のB.O.X.本体に影響を及ぼす可能性が極めて低いため問題ないと判断いただいたところです。駅北本通線に隣接する公園は、

Q 国からの指示によるハザードマップの見直しにより、浸水高3メートル以上となる地域が石狩

Q 本市の道路整備は、道路の交通量や道路網としての重要性などの各要素を数値化するなどし、客観的に評価の高いものから整備する路線を選定を

するとともに、改修の大している。避難のための市道拡幅等の整備が必要と考えています。

A 本市の道路整備は、道路の交通量や道路網としての重要性などの各要素を数値化するなどし、客観的に評価の高いものから整備する路線を選定を



おおたこういち
太田幸一 議員
(新政クラブ)

駅北本通線沿いの公園新設



深川市ハザードマップ：市HP
防災ガイドブック

市議会活動レポート

議員は現場から学ぶ

深川市議会では、委員会における活動や、議員としての視野を広げるための活動として、さまざまな取り組みを行っています。

今回は、10月13日に行った深川市議会森林・林業活性化推進議員連盟（以下、林活議連）による研修会についてご紹介します。

～林活議連研修～

深川市の森林・林業の活性化と山村経済の振興に寄与することを目的とした全議員で構成する林活議連では、毎年、道内の林業を中心とした研修事業を実施しています。本年は、北海道の林産業についての研修と林産試験場（旭川市）への視察を行いました。

研修会では、空知森林管理署北空知支署の三橋支署長を講師に招き、森林整備の取り組みやエゾシカ捕獲対策、治山事業などについての説明を受けた後、空知総合振興局森林室砂川事務所の武田所長と北空知森林組合の久村参事から情報提供を受け、林業への理解を深めました。



三橋支署長による講演

研修会の後は旭川市へ移動し、木材・木製品や森林バイオマス、キノコ生産などの研究を行っている林産試験場を視察し、先進的な取り組みを学びました。



林産試験場の視察

- ② 6月議会での道の駅に関する一般質問で、企業情報記載により非公開と答弁したが決裁文書が初めてから存在しなかった。虚偽答弁であり、議会及び議員を冒涜するものであるが、市長の見解と責任について伺う。
- ③ 第2回定例会での答弁については、議会閉会

後、佐々木議員との協議の中で、本市が情報公開請求に基づき特定した文書と、議員が求めていた文書が食い違っていたことを確認したと認識しています。その後、議員から改めて情報公開請求があり、市では誠実に対応したもので、第2回定例会の時点では、文書が食

- い違っていた事実を認識できていないことから、答弁内容に虚偽に当たる部分はないものです。
- ④ 道の駅力フェchner開設決裁書

組織の意思形成過程を経たとの強弁は認められない。起案責任のある担当所管の決裁がない理由を伺う。

⑤ 担当所管における開設理由と目的を示した決裁がなく、工事担当の設計変更の決裁だけで、組

のであり、文書管理規程などに基づき事業を進めたものです。決裁の理由や目的を明記するといつたことは文書規程上に具体的な記載はないため、規程以外の部分は各所管の判断によるものと考えています。

- ② 都市計画用途地域以外の「地域農業居住拠点」に存在する老朽空き家は、住民の生活と児童通学路の安全にとって早急に解決すべき課題である。市民からの問い合わせ状況と行政対応について伺う。
- ③ 本市の老朽空き家等の対応については、市民からの問い合わせなどを

もとに、所有者への適正管理指導や相続人の確認などを行っており、対応が必要となっている建物は94件、このうち、都市計画区域用途地域以外の建物は38件です。市では、解体助成を行っていますが、対象区域を拡充する

- には財源も伴うことから、より効果的な制度設計を検討してきます。
- ④ コロナ禍の中で安全でおいしい地元農産物の地域消費を推進することは、食育と経済の地元還流の両面から大切な施策

である。米などを保育所等での給食食材として活用する場合の行政支援を伺う。

⑤ 市内の保育所や幼稚園の給食については、それぞれの運営方針に従い対応されており、その中で、保育所で使用しているお米については、地元の生産者や業者から購入

していると伺っていますが、購入しているお米が深川産であるかの確認は、地元食材活用の行政支援においては複数の所管が関係する内容のため、情報共有を図りながら、今後研究していくたいと思います。



つじもと さとし 智 議員
(公政クラブ)



佐々木一夫 議員
(新政クラブ)

道の駅の虚偽答弁について



道の駅「ライスランドふかがわ」
：市観光サイト



道の駅「ライスランドふかがわ」

住宅助成制度について：市HP



給食の一例